

七尾市のまちづくりの基本方針について

(1) 笑顔で人が行き交うまちづくり（観光・交流）

全国有数の温泉地である和倉温泉や、青柏祭やお熊甲祭をはじめとする地域固有の伝統的祭事など、魅力ある観光資源と豊かな自然を最大限に活用して、国内外問わず、多くの人々が訪れるまちを目指します。

また、姉妹都市や親善都市など、各都市や各地域から多くの人々が訪れ、市民と来訪者の交流が活発に行われるまちを目指します。

(2) 健やかで元気みなぎるまちづくり（健康・福祉）

各種福祉サービスの充実や地域福祉の推進など、心が通う福祉施策を実施して、子どもからお年寄りまで、誰もが元気でいきいきと暮らせるまちを目指します。

また、生涯を通じて健康で、安心して医療が受けられるまちを目指します。

(3) ふるさとに学び、ともに育つまちづくり（教育・文化）

学校教育の充実や教育環境の整備を図るなど、一人ひとりの個性と学力を伸ばし、心豊かな子どもたちを地域ぐるみで育てるまちを目指します。

また、生涯にわたって市民が学び、スポーツをする環境づくりに努めるとともに、郷土の歴史や文化を学び、郷土に愛着と誇りが持てるまちを目指します。

(4) 創造と活力あふれるまちづくり（産業・港湾）

商工業では、地域に根ざした既存産業の振興、企業誘致や人材育成を推進し、また、農林水産業では、各種基盤整備や商品のブランド化を推進して、活力あふれるまちを目指します。

(5) 快適で魅力あるまちづくり（都市基盤）

都市の根幹を成す道路や公共交通などの基盤整備を積極的に行い、能登半島の中核都市にふさわしい都市機能の充実させ、快適で魅力あるまちを目指します。

(6) 安全で住みよいまちづくり（安全・環境）

防災や防犯、交通安全対策の充実を図るなど、災害や犯罪から身を守り、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

また、市民一人ひとりが自然の大切さを認識するとともに、環境対策を充実するなど、環境にやさしいまちを目指します。

(7) 市民とともに歩む、健全なまちづくり（協働・行政経営）

職員数の適正化や公共施設の統廃合等による行財政改革を推進するなど、健全で効率的な行政経営を行うとともに、市民と行政が一体となった協働によるまちを目指します。

また、市民一人ひとりの人権を尊重するとともに、男女がともに参画するまちを目指します。